

博物館  
だより

ミニミニマインズ



第201号

2012.1



新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

## 第3回 市民開放講座開催

平成23年12月20日(火)、平成23年度第3回市民開放講座を開催しました。講師は鉱業博物館研究員の丸山孝彦先生で、「花こう岩体の内部構造とストロンチウム同位体比初生値との関係」一屋久島花こう岩体、沢入花こう岩体、遠野複合花こう岩体を例にして— という演題で講演をしていただきました。岩石学の専門的な内容にもかかわらず積雪の多い中たくさんの方が集まり、熱心に聴講していました。



講演をする丸山先生

## 第4回 市民開放講座開催

平成24年1月12日(木)、平成23年度第4回市民開放講座を開催しました。秋田・東北地方の“地熱”の資源量評価と利用促進への方策— 原子力発電と自然エネルギー開発の選択— という演題で鉱業博物館研究員の高島勲先生に講演していただきました。今、関心の高まっている地熱エネルギーについてわかりやすくお話してくださいました。



講演をする高島先生

## ■第5回 市民開放講座のお知らせ■

地球年齢の鉄隕石の組織  
—ウィドマンシュテッテン構造—

講師：鉱業博物館研究員 今清水雄二 先生  
日時：平成24年1月26日(木) 15:00~16:00

聴講する参加者の  
皆さん



\*この開放講座は、入館・聴講ともに無料、事前申込不要でどなたでもご聴講いただけます。どうぞお気軽にご参加ください。



## 第3回 鉱業博物館特別展示

「リニューアルからリニューアルまで」



平成24年  
1月6日(金)~2月12日(日)  
~鉱業博物館企画展の歩み~

鉱業博物館の企画展は、創立30年のリニューアルを記念して開催された第1回目の1995年から始まり現在まで32回を数えました。災害や自然エネルギー等を取り上げた数々の企画展のポスターと、企画展の様子を垣間見ることのできる写真集も合わせてご覧いただけます。

当館2階の特別展示室で開催していますので、ぜひお越しください。

# サイエンスボランティアを募集します！

平成24年度サイエンスボランティアを募集いたします。  
今年度登録している方も、毎年度の更新となっておりますので改めてお申し込みください。  
募集要項は下記のとおりです。どうぞよろしくお願いいたします。

活動内容：見学者への案内と説明

館内環境整備等の鉱業博物館の事業への援助活動

※事前に活動をサポートするための学習会を開催する予定です。

活動期間：1年間

募集対象：高校生以上であればどなたでも申込できます。

年齢・性別・学歴・職業は問いません。

募集期間：平成24年2月1日（水）～平成24年3月30日（金）

（土日・祝日を除く9:00～16:00）

申込先：鉱業博物館までご連絡ください。

◆TEL 018-889-2461

◆E-mail w3admin@kuroko.mus.akita-u.ac.jp



見学の中学生に展示案内するサイエンスボランティアさん

## 鉱業博物館が紹介されました

秋田魁新報で、県内各地の博物館や資料館に秘蔵された逸品や珍品を紹介する連載「〈県内〉ミュージアムのとっておき」が始まり、第1回目として平成24年1月8日（日）付朝刊に当館が掲載されました。

レイアウトを大きく変えた3階の展示にスポットをあてて、細部まで忠実に再現した鉱山・製錬プラントの模型を紹介しています。記事の中で、3階の展示を担当した鉱業博物館主事の今井忠男先生は「テーマを鉱業に絞り、採鉱・選鉱・製錬まで系統的に見せられる他にない施設」と語っています。



## ご利用ください！

現在特別展示を開催している2階特別展示室や3階講堂で、学内の研究や卒業論文等の発表を行ってみませんか？ 講習会やセミナー等にも利用できます。

2階特別展示室では展示用パネルの使用もできます。3階講堂は50人から100人の収容が可能です。大型スクリーンも備えています。使用時間は原則として開館時間内となりますが、ご相談に応じます。詳細は当館事務室までお気軽にお問い合わせください。

◆TEL 018-889-2461

◆FAX 018-889-2465

## 標本の紹介

### 日本式双晶〈石英(水晶)〉

2つの水晶がくっついてハート状になったもので、84度34分の規則性を持った角度で交差しています。明治時代に日本で採掘されたものがヨーロッパで大きく紹介され、話題となったためドイツの岩石学者が「日本式双晶」という名前を付けました。海外では「ジャパニーズツイン」と呼ばれています。

当館では、透明できれいな標本をたくさん展示しています。全35個のいろいろな表情をもった双晶が楽しめます。

1階鉱物コーナーに展示していますのでどうぞ見に来てください。

84度34分の角度で接合



形状からハート水晶、蝶形水晶とも呼ばれる

